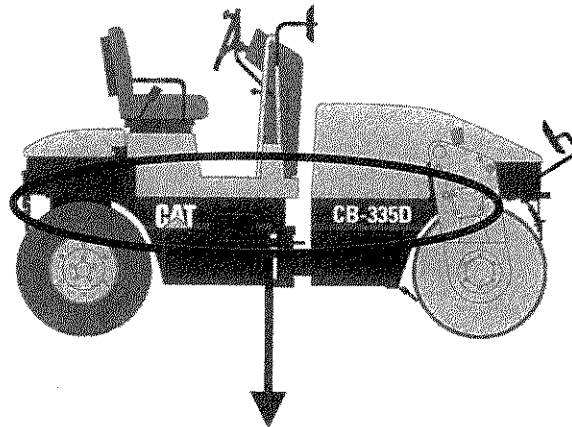
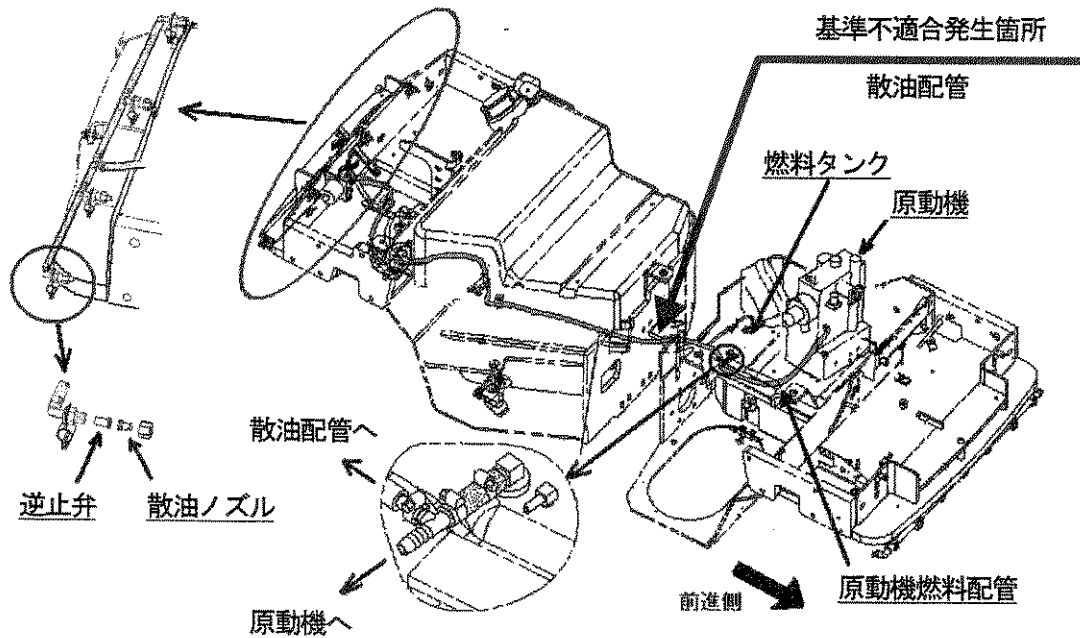


－ 改善箇所説明図 －

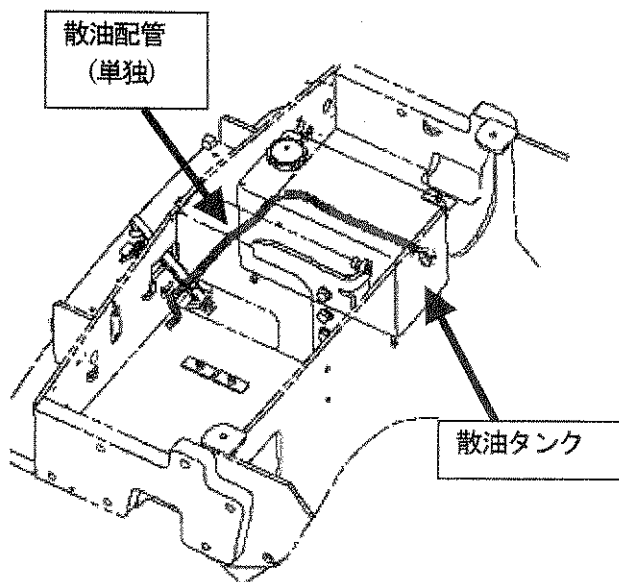
不具合事象①



対策前



対策後



燃料配管の回路が不適切なため、散油配管の逆止弁の経年劣化及びゴミ噛み等によりシール性能が低下し、散油配管中にエアーを吸い込んだ場合、共用配管である原動機の燃料配管にエアーが混入し、最悪の場合、原動機が停止し再始動できなくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、散油タンクを追加装着し、原動機燃料配管と散油配管を個別回路にする。

注： は、交換部品を示す。

識別：対策済み車両には、散油タンクが追加される。